



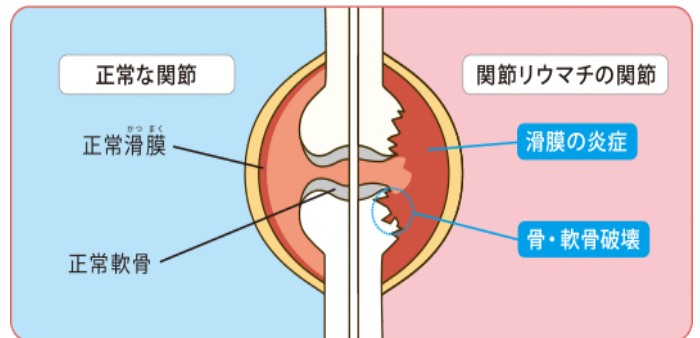
## 関節リウマチについて

### 関節リウマチってどんな病気？

関節リウマチは、関節内にある滑膜という組織が異常に増殖することによって、**関節内に腫れや痛み、こわばりなどの炎症を起こす疾患**です。

原因はまだよくわかっていませんが、遺伝子による異常やウイルスの影響で、免疫系が自分自身の組織を攻撃することで起こる**自己免疫疾患**のひとつと考えられています。

図：関節リウマチの関節の変化



(出典 中外製薬株式会社HP)

どの年齢でも発症しますが、特に**30～50代に多く、男性より女性の方が多く発症します**（男性の約4倍）。

### 関節リウマチの症状とは？

最初は両方の手指・足指・手首の関節が、左右対称に痛んだり腫れたりします。特に朝起きて**30分以上続く手のこわばり感**が典型的な初期症状です。

炎症が続くと、腫れが膝・肘・肩・股関節などの全身の関節に広がっていきます。

関節リウマチは関節だけの病気ではなく全身病ですので、**貧血・だるさ・微熱・疲労感・息切れ**などの全身症状を伴うことがあります。

病気が進行すると、関節の骨や軟骨が破壊されて変形がおこり、関節を動かせる範囲が狭くなり、日常生活に支障をきたすようになります。

関節破壊は発症後早期から急速に起こることが分かってきました。関節の腫れや痛みがひどくなくても、関節内部では炎症が続き、関節破壊が進行していることもあります。

従って、**早期発見、早期治療**が重要となります。

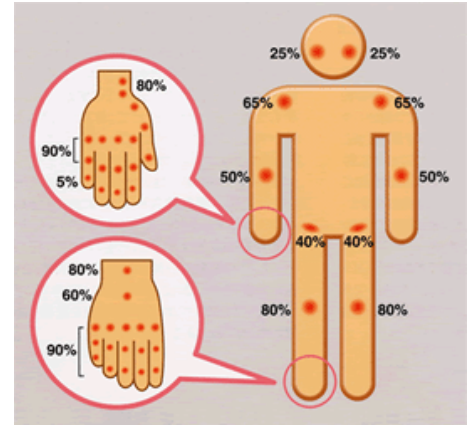


以前と比べて…

最近こんな症状が気になりませんか？

- パジャマのボタンが外しにくい
- 家のカギが開けにくい
- 歯ブラシが持ちにくい
- ビンのフタが開けにくい
- TVのリモコンが押しにくい
- 朝食を作るとき、動作に違和感がある
- ドアノブが回しにくい
- 靴ひもやリボンが結びにくい
- ハサミが使いづらい
- ホチキスが使いづらい
- おはしが上手に使えない

関節リウマチが起こる関節を●で、その頻度を数字で示しています。



(出典 田辺三菱製薬HP)

関節リウマチはできるだけ早く治療をすることで関節の変形を防ぎ、治癒の可能性が高くなります。

上記のようなリウマチの初期の自覚症状が現れたときは、整形外科やリウマチ科を受診することをお勧めします。

## 関節リウマチの検査

血液検査・尿検査およびX線・MRIなどの画像検査を組み合わせて行います。

### 血液検査

**人間ドックに含まれる項目** (契約内容によっては含まれておりません)

#### ●CRP検査 (C反応性タンパク質)

リウマチだけでなく体に炎症が起こると数値が上昇します。

リウマチによる関節炎の程度指標となります。



**当院でオプション検査として追加できる項目**

#### ●リウマトイド因子 (RF)

リウマチでは、自分の体の細胞や組織に対する抗体が作られます。その抗体のひとつがRFです。

関節リウマチの患者さんでは約8割の方が陽性になります。(残り2割の方では陰性となるため、たとえリウマトイド因子が陰性でも関節リウマチでないとは言い切れません。)

#### ●抗CCP抗体

早期のリウマチでも血液中にみられることから、早期診断に応用されています。

他にも診断を確定するために様々な検査があります。気になる症状がある方は外来を受診し、医師にご相談ください。

健康診断のご予約やご相談は、Tel.03-3668-6806へご連絡ください。



今後もニュースレターを発行し、皆様の健康管理に少しでも参考になればと思います。ぜひ皆様からのご意見、ご感想をお寄せください。今後もこのニュースレターやホームページ等を通じ、役立つ情報を発信してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

公益財団法人早期胃癌検診協会 事務局

Tel.03-3668-6803/E-mail:mail@soiken.or.jp